

【担当教員名】 黒川幸雄・小林量作・渡邊恵子		対象学年 3・4	対象学科 理学・作業・言語・健康・社会
		開講時期 後期	必修・選択 選択
		単位数 1	時間数 30
【概要】 高齢社会の進行の中で注目を浴びている介護予防・転倒骨折予防を中心とした介護予防運動の方法を理解する。			
【学習目標】 1、転倒メカニズム、転倒反応、及び杖歩行に関する演題を聞いて、考えて、そしてレポートにする。 2、転倒に関連する運動機能の評価ができる。 3、高齢者向けのストレッチが実践できる。 4、高齢者向けの筋カトレーニングが実践できる。 5、高齢者向けのバランス・トレーニングが実践できる。 6、高齢者のQOLについての評価が行える。			
回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1, 2	第6 回新潟医療福祉学会参加、聴講		H18.10月大学において、聴講、レポート
3, 4	第5回運動器QOL研究会参加	2, 6	H18.11月 レポート
5, 6, 7	第2回転倒予防フォーラム聴講及び運動指導の参加など	1, 3, 4, 5	H18.11月聴講・実習・レポート
8, 9	高齢者向けの運動機能評価の方法など	2, 6	H19.1月13日実習（小林・渡邊・黒川）
10, 11	高齢者向けのストレッチング・筋力・バランストレーニング指導	3, 4, 5	H19.1月13日実習（小林・渡邊・黒川）
12,	まとめ	1~6	H19.1月13日実習（小林・渡邊・黒川）
【使用図書】			
教科書	介護予防関係の適当なテキストを調べ、教科書として購入をお願いします。		
参考書	老年医学テキスト 高齢者の転倒	日本老年医学会 レイン・ティディクサー	メヂカルピウ メデイカ出版 最新版 7000円 2001年刊行、3000円
その他の資料	必要の都度配布する		
【評価方法】 ①レポート提出 ②実習への参加状況 ③研修会の参加状況		【履修上の留意点】 来年度後期の予定が明確になり次第詳しい予定などは連絡する。	